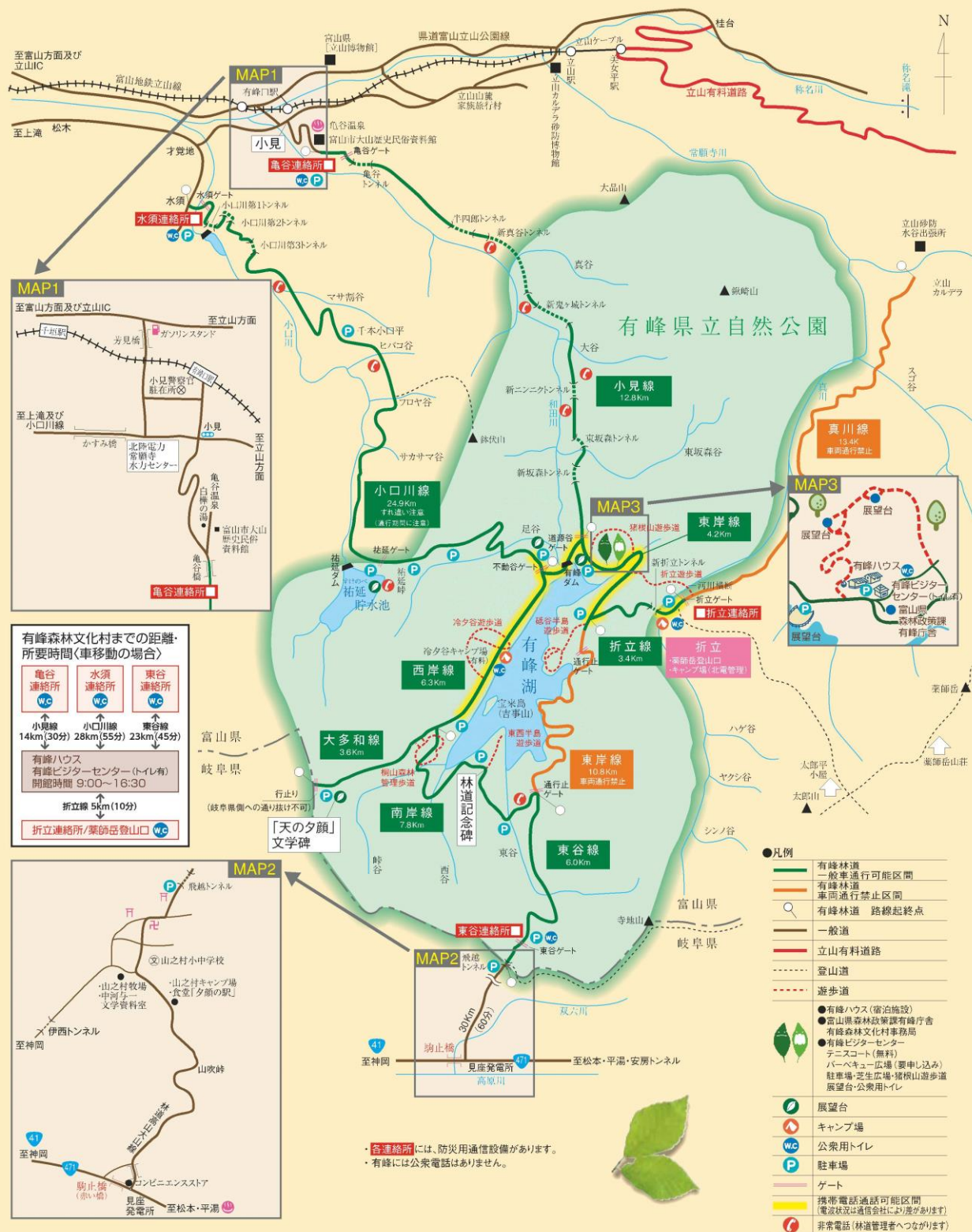


有峰森林文化公園位置図等

令和 7 年 8 月

富山県農林水産部森林政策課

有峰案内図



富山県有峰森林文化公園区域図

有峰湖周遊マップ & 遊歩道

- | | | | |
|--------------------|-----------|---|----------|
| ①: 約2km 散策時間約90分 | 有峰ハウス横 | → | ハウス旧館横より |
| ②: 約2km 散策時間約80分 | 北口 | → | 中央口 → 南口 |
| ③: 約1.6km 散策時間約40分 | 南岸記念碑より | → | |
| ④: 約2.8km 散策時間約80分 | 半島駐車場より | → | |
| ⑤: 約1.8km 散策時間約80分 | 折立連絡所附近より | → | 東岸線脇より |



有峰ハウス竣工

平成16年10月 1 日



 富 山 県

建設概要

■ 整備経過	平成15年	4月3日	有峰ハウスの整備基本方針策定
	平成15年	5月19日	基本設計第1回委員会(現地調査)
	平成15年	6月16日	基本設計第2回委員会
	平成15年	8月26日	工事着手
	平成16年	9月21日	竣工検査
	平成16年	10月1日	竣工式

■施設概要 1 面積

	食堂・交流棟	宿泊棟	渡り廊下	囲炉裏棟	合 計
建築面積	413.64	226.20	21.82	29.16	690.82
延床面積	357.21	252.40	21.82	29.16	860.59

(㎡)

2 構造 木造2階建て(一部平屋)

3 客室数 10室(和室7室、洋室3室)

4 事業費 約340百万円



食堂・研修室



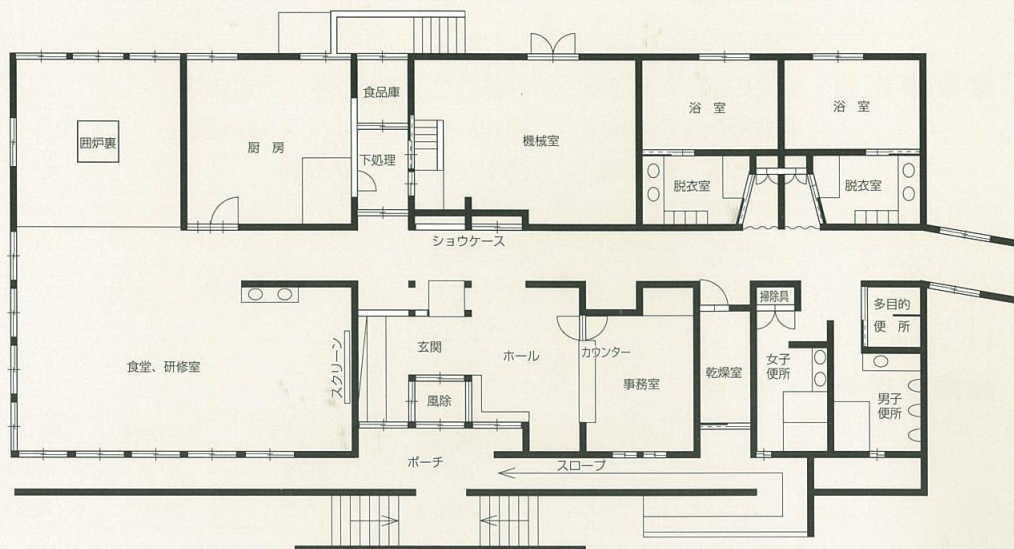
囲炉裏



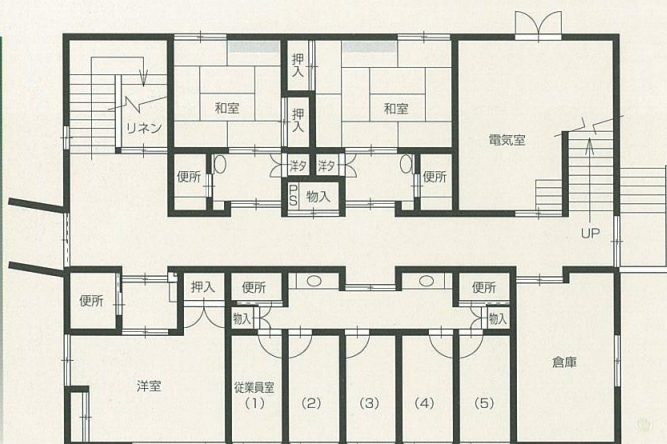
客 室

有峰ハウス
館内平面図 1/200

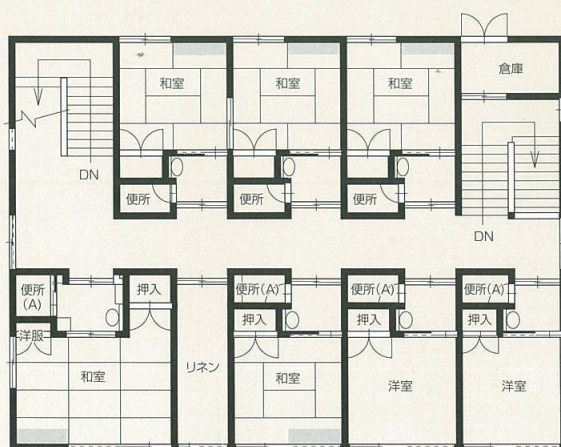
食堂・交流棟



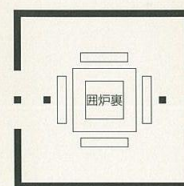
宿泊棟1階



宿泊棟2階



囲炉裏棟

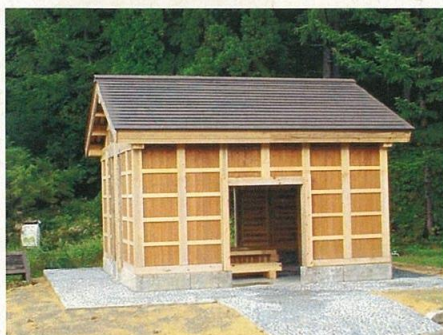


有峰ハウス

～木々との出逢い～

有峰ハウスは有峰森林文化村の活動拠点施設として平成 16 年 10 月 1 日にオープンしました。

整備にあたっては、有峰の自然と調和する木造とし、県産材を利用した木の良さを体験できる施設にしました。



いろり棟

◆ 有峰生まれの木 ◆

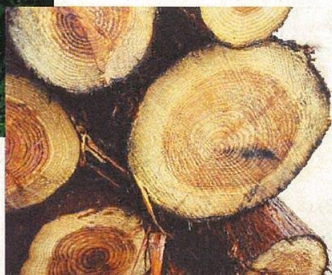
いろり棟の木材は、有峰で育った木を使用しています。

大黒柱は、林道南岸線にある林道記念碑周辺の推定樹齢230年、胸高直径58cmのネズコを使用しています。

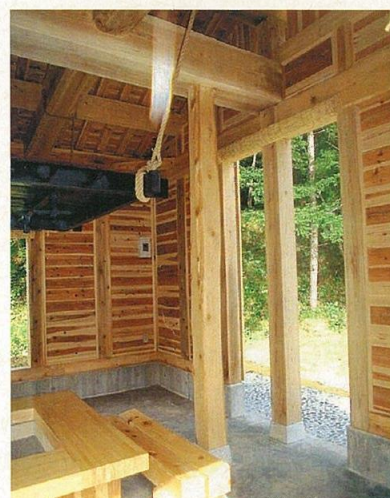
(林道通行の安全のため伐採されたものを使用。)



平五郎谷の造林地内のスギ林



伐採されたスギ



いろり棟の大黒柱と内壁

壁や柱は、昭和38年に林道西岸線沿いの平五郎谷、冷夕谷周辺に造林されたスギを使用しています。

また、このいろり棟の構造は「うだつ造り」といって、昔、有峰に暮らす人々の家に使用されたものと同じです。

有峰の自然の中で育った木は、その気候にあった木です。

伐採されたあとも、形をかえて有峰で利用されます。

長い年月、有峰を見てきた木に囲まれて、今日の出来事や昔の有峰について語り合うのも楽しいでしょう。



この紙は間伐材パルプ10%・古紙90%を利用しています。

◆ 自然に耐える斜め柱 ◆

標高1,100mに位置する有峰ハウスは、冬季間4mに達する雪に覆われ、この重さに耐えなければなりません。

このため、これまでの建物はコンクリートなどを使用してきましたが、有峰ハウスでは斜め柱を効果的に配置し、木造で建設することができました。

厳しい自然に耐えるため、食堂・研修室の柱の数は56本もあり、これらは全て県産スギを使用しています。

◆ キズがつきにくいスギ材フローリング ◆

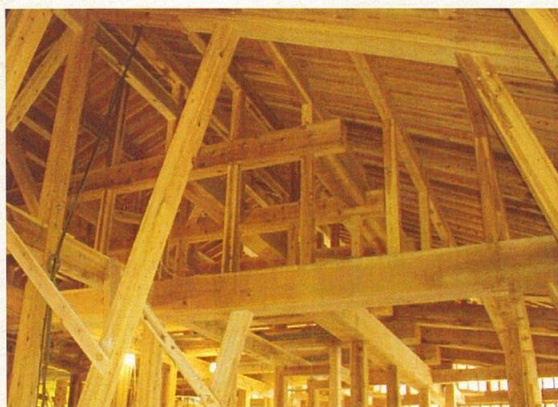
有峰ハウスはフローリング材にも県産スギを用いています。

スギ材は柔らかく座り心地も良いものですが、キズがつきやすい材でもあります。

有峰ハウスでは、富山県木材試験場が開発した圧密加工技術を用い、材の表面だけを硬くし、キズがつきにくくしながら、木そのものが感じられるフローリング材を使い、木の良さを発揮しています。



食堂・研修室の柱とスギ材フローリング



屋根裏の梁

◆ 見えないところでささえる梁^{はり} ◆

有峰ハウスの宿泊棟では、雪の荷重に耐えるため、大きな梁を使用しています。

大きなものでは、太さ42cmもの梁を使用しています。

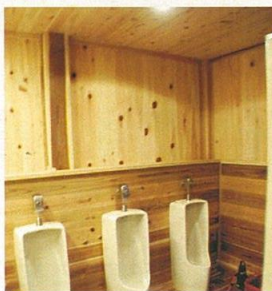
廊下や部屋の一部にその姿を見ることができます。

◆ 適材適所 ◆

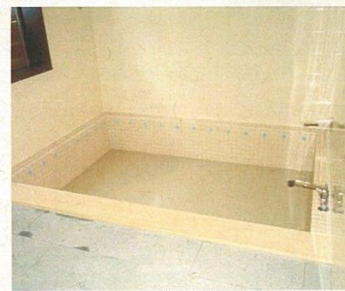
有峰ハウスは浴槽の湯縁^{ゆぶち}や天井、トイレの壁などにヒノキを使用しています。

ヒノキは腐りにくく、水を使用する箇所での使用に適しています。場所に適した木を選んで使用しているのです。

肌触りも木によって違いますので、実際に触れて違いを感じてみてください。



トイレの壁



浴槽の湯縁

有峰ハウスは木材^{こうぞうざい}（構造材と造作材^{そうさくざい}）を約521m³使用しています。これは富山県の平均的な住宅約15棟分になります。また、使用した木材の大部分が富山県産材です。

有峰ハウスで木の良さをじっくりと体験してください。

